

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：消化器・一般外科 藤川 葵

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器・一般外科 藤川 葵

心臓血管外科手術後の方を対象とした胆嚢炎に関する研究

1.研究の対象

2008年4月から2018年3月までに当院を退院された、全身麻酔にて心臓・大血管手術を行った、20歳以上の方。

2.研究の目的・方法

心臓血管外科手術は、術後に集中治療室での治療を必要とし、大量の輸血や昇圧薬を用いる場合も多く、また手術関連の死亡リスクも伴うような、極めて侵襲度の高い手術です。その中で、心臓血管外科手術の術後に、時折発症する急性胆嚢炎は、その原因が通常の胆嚢炎の原因となる胆石のほか、術前・術後の低血圧や血栓による虚血が原因である場合も多く、治療方針については、術後の全身状態から根治治療である胆嚢摘出術が行えず、手術以外の治療を余儀なくされる場合があります。

今回、心臓血管外科手術後に発症した急性胆嚢炎の患者さんの背景と胆嚢炎に対する治療法、合併症、予後を検討し、心臓血管外科手術後の全身状態が不安定である患者さんに対し、よりよい治療法を患者さんおよびその家族の方に示すことを目的とし、今後の診療の一助となることを期待して、この研究を企画しました。

なお、この調査では、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》ID、性別、生年月日、心臓血管外科手術の内容 等